

## 平成 24 年度第 1 回競争契約監視委員会 議事概要

日時：平成 24 年 6 月 15 日（金） 9 時 30 分～12 時 00 分

場所：成田国際空港株式会社東京事務所

出席：委 員：東京工業大学 長瀧重義名誉教授（委員長）

白鷗大学法科大学院 鈴木孝之教授（委員長代理）

筑波大学法科大学院 藤村和夫教授

早稲田大学理工学術院 柴山知也教授

N A A：高橋取締役兼常務執行役員、加藤取締役兼常務執行役員、  
草野専務執行役員、木村執行役員（工務部長）、  
松村法務コンプライアンス部長、鈴木調達部長、椎名調達部担当部長  
法務コンプライアンス部、調達部

議事：

1. 高橋取締役兼常務執行役員挨拶

2. 契約状況等について

法務コンプライアンス部及び調達部より、工事等に関する契約状況、随意契約理由  
について説明

委員からの質問・意見	N A Aからの回答
公募型競争契約（工事）の中で、「2PTB4 階商環境リフレッシュ工事（建築）」など、応募社が 1 社しかないのは、どのような事情が想定されるのか。	成田という地域特性、夜間工事工期が比較的長期である等の工事特性によって、応募する者が少なかったと思われる。
公募型競争契約（工事）の中で「千葉港頭外港棧橋 FRP カバー補修工事（平成 23）」について、N A A の施設は千葉港にもあるのか。	千葉港頭に給油関係施設を設けており、その棧橋に係る補修工事である。 ※千葉港頭外港棧橋 千葉港頭石油ターミナルにある棧橋のうち、東京湾に面している棧橋 ※FRP カバー 浮遊物の衝突や波による侵食等から防護するための繊維強化プラスチック製のカバー

<p>随意契約（調査）の中で、「平成 23 年度空港内従業員実態調査」及び「ギアダウン実態調査」とあるが、これらはどのような調査なのか。</p>	<p>「平成 23 年度空港内従業員実態調査」とは、空港内各事業所の従業員数やその従業員の居住地等を調査するために、3 年に 1 回ほど行っている調査である。</p> <p>また、「ギアダウン実態調査」とは、冬に空港南側から着陸進入する航空機については、そのギアに付着した氷塊が陸上で落下するのを防止するために洋上でのギアダウンが義務付けられているが、それが実際に行われているかを調査するものである。</p>
<p>公募型競争契約（維持・役務等）の中で、「第 5 駐車場清掃作業」を受注した社は、同社の他の受注案件に比べて落札率が低くなっているが、その理由は何か。</p>	<p>当該作業受注者は第 5 駐車場に隣接する施設の清掃を請け負っているために、施設を一体として効率的な作業が可能であり、競争による受注者側の努力の結果、契約額が更に低減されたものと思う。</p>
<p>公募型工事平均落札率の経年推移を見ると、平成 22 年度のみ 70% 台まで下がっているが、平成 23 年度に 80% 台まで上がっている理由は何か。</p>	<p>平成 22 年度は価格競争が激しく、落札率が全体的に低くなったものの、平成 23 年度は震災の影響から資材価格の高止まりリスクや技術者の不足などの状況がみられ落札率が平成 22 年度に比べ、高くなったと思われる。</p>

### 3. 総合評価方式について

以下の 3 件について、調達部及び工務部より工事概要及び契約方式を説明

X 線検査装置購入 (H23)

横堀地区エプロン照明・灯火設置工事

2PTB 連絡通路新設その 1 工事 (建築)

委員からの質問・意見	N A Aからの回答
<p>総合評価方式実施案件の中の、「運管用 ITV 設備更新工事 (2PTB 地区)」は最終的に価格点が最も高い社ではなく、技術点の最も高い社が受注しているが、この結果は価格よりも性能の良いものを選んだということか。</p>	<p>本件は技術的に大きな差がつく工事ではなかったが、施工中の保安対策をきちんと行うかどうかで差がついたものである。</p>

「横堀地区エプロン照明・灯火設置工事」における技術点及び価格点はどのような採点方式か。また、点数については公表しているのか。	N A Aの簡易型総合評価方式は、価格点を100点として、そこに技術点を加算していく方式を採用している。本工事も価格点到最大17点の技術点を加算している。技術点は当社ホームページで公表している。
価格交渉の際、相手方が価格を下げた部分は把握できるのか。	見積書の中で、価格を下げた各項目を確認している。価格交渉の中で下がる主な項目は、共通仮設費、諸経費、本社経費といった部分である。他社より極端に高く見積もっている部分について、価格交渉を行っている。
談合が疑われた場合の手続きはどうなっているのか。	談合が疑われた場合は、当社が策定した談合情報対応マニュアルに従い、手続きを行うこととしている。

#### 4. 低見積調査について

以下の3件について、調達部及び工務部より工事概要及び契約方式を説明

2PTB 国内線増築工事

横堀地区エプロン照明・灯火設置工事

2PTB 連絡通路新設その1工事(建築)

委員からの質問・意見	N A Aからの回答
スケールメリットを追求すると契約制限価格が高くなり、結果として一般競争入札につながるようになると思うが、そうすると価格競争ができないため、かえって価格が低減できないというデメリットが生じるのではないか。	一般競争入札では、より多くの応募者の参加が期待されるので、価格交渉をするのと同等的コスト削減効果があると考えられる。
「2PTB 国内線増築工事」の低見積ヒアリング調査の際、同席している社は、どのような社か。	当社と調達に係る調査や価格交渉に関するアドバイザー契約を結んでいる社である。当該社は他空港LCCターミナルでの設計施工に関わった実績があることから、設計施工のノウハウと工期短縮に関するアドバイスを頂くため、同席してもらったものである。

5. 無効及び不調案件

以下の1件について、調達部より説明

PTB 事務棟トイレ改修工事(共有 23) 機械

委員からの質問・意見	N A Aからの回答
特になし	

6. その他

地元企業への発注増加制度の拡大について、調達部より説明

委員からの質問・意見	N A Aからの回答
地元企業への発注増加制度の実績はあるのか。	今年度4月より、3件の応募があり、うち1件が地元企業の受注となった。受注金額は750万円程度となっている。

7. 全体を通しての意見

委員からの意見
N A Aの競争契約に関しては、概ね適正に機能している。

8. 草野専務執行役員閉会挨拶

次回の委員会は平成 24 年 11 月 6 日（火）に開催予定。